

買い物・移動支援地域づくりネットワーク会議 2022.1.18

NPO 法人ワーカーズコープかがやき

新井厚美

【生きがいづくりと送迎支援】

最初に、私たち NPO 法人の合言葉があります。

独りぼっちにならない。しない。

元気な高齢者はより元気に、人と地域のお役に立とう。

移動が困難になる理由は何でしょう

- ① 身体面
- ② 精神面
- ③ 地域面
- ④ 経済面
- ⑤ 利便性
- ⑥ 生活面
- ⑦ 目的面
- ⑧ 意欲面

高齢化が叫ばれますが、伊那市はどうなるのでしょうか

小地域別将来人口推計（青山学院大学）資料から

	2020年	2040年	差	
総数	65,986	54,965	▲11,021	高齢化率 32.2%⇒40.1% ※長野市も同様（39.8%）
0～14歳	8,292	5,810	▲2,482	
15～64歳	36,477	27,096	▲9,381	
65～74歳	9,373	8,855	▲518	
75～84歳	7,217	7,067	▲150	
85歳以上	4,627	6,137	+1,510	

高齢者が急増していくのではなく、下の世代が減っているのが問題

元気な高齢者がもう一花咲かせることが大事ですね

介護ニーズは 80 歳代で急増します。

85 歳以上の高齢者の場合、

- ① 医療と介護を併せたニーズを有しています
- ② 複数の慢性疾患を有する方が増えます
- ③ ADL（日常生活動作）が低下しやすくなります
- ④ 本人を取り巻く環境に個人差があり・・・

高齢者の日常生活に関する意識調査（内閣府 2015 年）では

外出の希望 外出したい（61.3%）、

あまり外出したくない（28.3%）

外出したいとは思わない（4%）

あまり外出したくない人の理由

- ・数百メートル歩くことや少し重いものを運ぶことが難しい
- ・階段の昇り降りが非常に困難
- ・友人や仲間がいない人も 18%

都市の規模が小さいほど移動手段は「自分で運転する」と回答

外出時の障害は

階段・段差・坂道（15.2%）、公共交通機関が使いにくい・未整備（18.6%）



健康な心身を維持する為の外出は不可欠です

無くそう とじこもり高齢者

週に数回しか会話しない独居高齢者

買い物に行きにくい事による低栄養

この為には

移動の手段（選択枝）がたくさんある地域

移動支援の担い手さんがいっぱいいる地域

そして

外出のモチベーションを高める居場所づくりも必要です

きょうよう・きょういく・ちょきんが私たちに必要です。

各地で多様な移動支援サービスが取り組まれています。

伊那市の皆さんの取り組みはその先進を行っています

地域社協で取り組まれている「ご近所での助け合い送迎」

おのりな号

生活支援と一体で行われる移動支援

福祉有償運送

ぐるっとタクシー

先日（1月15日）行われた「これからの移動支援、外出支援を考えるフォーラム」では喬木村・御代田町・駒ケ根市・飯島町・須坂市、伊那市で行われている事例が発表されました。

それぞれが地域の実情に応じて、工夫しながら取り組みが進められています。

地域支え合い型移動サービス 全国事例を紹介

移動サービスガイドブック（NPO 法人全国移動ネットワーク）より

○大分県国東市 竹田津くらしのサポート「かもめ」

利用者とカフェを無償で送迎+帰りに買物支援

○横浜市港北区緑ヶ丘地区 「菊名おでかけバス」

年会費+補助金+カンパでコミュニティバス運行

○滋賀県米原市大野木

総合事業の補助金を活用してお買い物支援（利用者負担はガソリン代+付添費）

○千葉市緑区大椎台自治会 「買物支援サービス」

社会福祉法人が車両と運転者提供、付添者は住民ボランティア

○川崎市麻生区 自宅とサロンの送迎

社会福祉法人は車両提供、運転はボランティア

○鹿児島県鹿屋市 「ドライブサロン」

住民が決めたサロン（集合場所）に社会福祉法人が買物送迎

○宮城県石巻市

コミュニティカーシェアリング

利用者が車両を手配し、運転者と外出する

各地で多様な取り組みが進められています

最後になりますが

移動は目的ではありませんよね 手段です

通院や買い物、知り合いに会いに、サロンに・・・目的は様々です
大事なことは

「出かける目的」があることです
そして、「意欲」があることです

もう一つ、移動時間中が楽しみになることも大事ですね。
車内での会話を楽しみにしていただけれることも

私も 全盲の方の通院時の送迎を一時期行っていました
悩みました。 話す話題が・・・
行った事は

何気ない会話から 見えてくるのが沢山あります
つぶやきを聞き逃さないことが
大事な事だと思います。